



佛蘭西答屈智幾
一

洋学文庫
文庫8
C 300
'1



慶應三年稟准

的悽那隈 原撰
村上英俊 譯述

佛蘭西 答屈智幾

達理堂藏



佛蘭西答屈智幾序文

若レ一學猶ホ初ニ在ルルハ其教ヲ欽慕ノ心精
神ヲ困惑セシム。○精神未タ觸知セサル事實ノ
根元ニ遡リテ心意ニ可トスルニ至ラシム故ニ。
事理ノ照據ニ因ツテ以テ切實ヨリ多ク智略ヲ
増ス。○智略ハ乃チ答屈智幾ニ生スル所ノ者ナ
リ。○此ノ學問ノ淺深ハ大ナル差違ヲ生スルヲ
試験セリ其故ハ一夫ハ其領地ヲ甚シク狭小ト
ナシ一武夫ハ其領地ヲ甚タシク廣大トナス。○
實ニ一人ハ答屈智幾ヲ軍兵動作ノ器械トナセ

佛蘭西答屈智幾

卷之一序

達理堂藏反

リ。又タ一人ハ。軍務ノ方略ヲ決スル者トシテ。答
屈智幾ヲ尊奉セリ。○然レモ。此軍術ノ真面目ハ。
軍兵ノ動作。及ヒ軍兵ノ齊整ヲ調ヘルト。余ハ
思フナリ。且ツ軍隊ノ部曲ヲ動作スル法ヲ示ス
ヘカラス。大将。諸軍務ノ間ニ。撰定ヲ為ス。規則ヲ
モ。示スヘカラス。猶ホ其齊整。及ヒ其動作ニ。異ナ
ル法則ヲ調ヘ設ク。ルヲモ。為スヘカラスト。余
ハ思フナリ。此齊整。及ヒ動作ノ事ハ。將畧ノ事務
ナリ。○或著述家ハ。晚近。答屈智幾ノ上ニ。私多刺
的義ヲ為スヘシトノ。撰定ヲ。余輩ハ。深慮シテ。可

トセス。○余輩ノ考察ニ於テハ。私多刺的義ト。答
屈智幾トハ。同等ニ。大切ナル軍術ノ。兩枝脈ト謂
ツヘシ。然レモ。軍争ニ於テハ。之ヲ差別シ。得難キ
程ニ。同様ナリ。○此ノ學理。彼ノ學理ヲ得ルヲ免
レス。然レモ。私多刺的義ハ。政治。地理。及ヒ軍備ニ。
導クニ。容易キ法則ヲ載ス。答屈智幾ハ。天時。地形。
及ヒ軍隊ニ從テ。異ナル齊整ノ事ヲ。含メリ。○此
理ニ因テ。余輩。猶ホ未タ不十分ト。思念スルヲア
リト雖モ。答屈智幾ヲ直ニ著述家ヲシテ。書キ著
スヲ定メリ。

此書ノ諸篇ノ常表ヲ記載スル。前ニ余「グイベル
ト」ノ例ニ從テ。遠世ヨリ。當時ニ至ルマデノ。軍術
差違ノ表ヲ。作為スヘシ。而シテ。昔アリシ者ト。當
今ノ者ト。比例スヘシ。且ツ稀ナル。肝要ノ書上ニ。
余自ラ勞意シテ。人心ト。政府トノ。答屈智幾上ニ。
施ス所ノ。感動ヲ。顯スヲ。努カスヘシ。○此凡例ハ。
疑ヲ容レス。精學シテ。精神大喜ヲ生スル。學問ノ
深奥中ニ。大ニ勇ンテ。進入スル教ヲ。陳述セリ。然
レモ。智謀ノ士ノ。如キ。運轉自在ノ筆ヲ。備ヘス。因
テ「テルナイ」君ノ。著書ノ。指意ヲ。明知セシムル。筆

カヲ備ヘス。故ニ余自ラ。我意ニ於テ。殊絶ト思フ。
諸論ニ止ルヘシ。而シテ。此ノ如キ至精ヲ盡シテ。
記シタル。書意ヲ極觀スルニ。足レリトス。
余因テ。茲ニ此書ノ。諸篇ノ常目錄ヲ示シ。而シテ
小篇中ニ。記載スル。別目錄ヲ示ス。及ヘリ。○此
方常ニ。教諭ノ書籍ヲ。檢査ス容易クス。然レモ。此
書ノ教法ヲ為シ。本然ノ目標ヲ。為サバ。ルヲ得ス
ト。思フナリ。○此書ノ。諸篇ノ。常目錄ヲ示シ。而シテ
合戦ニ於ル。軍兵隊齊整。及ヒ動作ニ。管スル法則
ヲ。含メル書篇ハ。諸軍隊ノ動作ノ形勢。如何ナル

カヲ解説スルニ因テ始ムヘシト思フ其故ハ軍隊ノ動作ハ大軍利ヲ得ル方略ナレハナリ然レモ第一ニ此動作ノ形勢ハ殆ント諸軍隊ノ習練法則中ニ示レアリ而シテ動作ヲ遂ケル方略ハ戦闘ヲ好ム歐羅巴諸民ニ於テ全ク同等ナリ○第二ニ諸兵力ニ因テ勤メ為ス進退ノ形勢ハ通常模様ニ從テ勤メ為ス甚々容易ナリ著述家其模様ニ就テ新説ヲ書キ著スヲ為セハナリ其他若シ著述家善事ヲ發明スルキハ當時其自得シタル指意ヲ用ユル法ヲ粲然ト明カニ

新説ヲ書キ著スヨリ他事ヲ知ラス○著述家ニ發明ノ事業ヲ書記セシムル十全ハ軍士其本國ノ為ニ勤ムル法ヲ容易ク見知シ得ル事ヲ潤色シ記スヘカラス殊ニ教導書ニ於テ然リ此未ハ考案疑ヲ容レズ肝要ノ進退動靜ヲ備ヘサルヲ確定セリ而シテ唯ニ教法集中ニ集メリ而シテ既ニ人知ル所ノ大答屈智幾ヨリ別ケタル規則ヲ論説セリ又々若シ其規則ヲ辨解スルノ勞ヲ為スハ二百年來ノ大將ノ凡例中ニ於テ見ル規則ヲ論説セリ

諸部曲ノ。連接ヲ為スニ。常ニ甚タ容易ナル。一ニ
ノ。學問ノ。研究ハ。諸軍隊ノ。進退ノ。形勢ヲ。既ニ知
ラシムルヲ。確定セリ。何トナレハ。此書ハ。軍備
ノ。為ヨリ。他ニ。記載セサルニ。由テナリ。然シテ。軍
備ノ。大略ヲ。備ント。欲スル。諸人ハ。乃チ。度學ノ。高
枝ニ。在ル。果物ヲ。得ント。欲スルニハ。算學ヲ。明知
スヘキ。如ク。直チニ。軍備ノ。模様ヲ。明知スヘキ
ヲ。知ル。

軍事ノ。運動ハ。二類ナリ。其一類ハ。攻撃ニ。管スル
ニモセヨ。防守ニ。管スルニモセヨ。直ニ。合戦ノ。運

動ニナル。方略ナリ。其一類ハ。前ノ。運動ト。多少隔
絶スル。一方略ヨリ。他ニアラス。○是故ニ。著述家。
此書ヲ。二部ニ。差別セリ。其一。行軍ノ。部ハ。多少接
戦運動ニ。同シキ。動作ニ。管スル。規則ヲ。含メリ。其
一。運動ノ。部ハ。接戦ノ。運動ニ。忽チナル。軍隊運動ニ。
管スル。法則ヲ。載ス。

是故ニ。諸人。行軍ヲ。軍術ノ。最大ノ。運動タリト。注
目スル。同意セリ。實ニ。行軍ヲ。為ス。無ケレ
ハ。運動モ。無ク。進退モ。無ク。行陣モ。無シ。○敵ノ。陣
前ニ。至ル。為ニ。行軍ヲ。為スヘシ。攻守ノ。戦陣ヲ。布

ク為ニ。行軍スヘシ。合戦ノ間。進退。動作ノ為ニ。行軍スヘシ。勝利ヲ促ス為ニ。行軍スヘシ。退軍ヲ為ス為メニ。行軍スヘシ。是故ニ。此答屈智幾ヲ。行軍論ヲ。以テ書キ始ムルヲ。著述家ノシテ。決定セシメリ。

行軍ハ。敵ヨリ遠隔シテ為シ。又々敵ノ彈丸。至ル所ヲモ為ス。若シ。一軍隊ヲノミ。敵ノ近キ處ニ在リテ。他軍隊ノ運動ヲ。覆ヒ防クキニハ。殊ニ然リ。第一書ノ部類。差別ヲ為スハ。此行軍諸類ノ。差別アルノ謂ナリ。

此法ハ。ゴイベルト氏法ニ隔絶セシ。其故ハ。何故カ。單一ニシテ。當然ノ者ヲ。投捨スレバナリ。然レモ。テルナイ君ハ。ゴイベルト氏ヨリ。其部類ヲ増セリ。其故ハ。テネナイ氏ハ。諸行軍ノ。普通規則ヲ。書キ示セリ。是レ先哲。敵ノ彈丸。至ラサル處ヲ為ス。行軍ノ。二三規則ヲ。示スヲ確定スレバナリ。敵ヲ遠隔シテ為ス。行軍ノ廟算ハ。多少勇マシク軍兵ヲ。其期スル所ニ。至ラシムルカ如ク。著述家大道行軍ヲ。常行軍。急行軍。迅行軍トニ。差別セリ。佛蘭西ニ於テ。四十年來。世ニ公行セシ。答屈智幾。

及ヒ外國ニ於テ。世ニ出セル。答屈智幾書中ニ散
亂シアル。規則ヨリ。他ニ於テ見サル。此行軍ノ諸
類ヲ。各模様ニ從テ。書キ著ハセリ。○「カンクリン」
氏モ。同シク軍隊ノ旅程ヲ。確定スル法ニ。衆多ノ
模様ヲ。書キ記シタル。後ニ。迅行軍ヲ。沈黙シテ過
セリ。此迅行軍ヲ。フレデキノ治世ヨリ。佛蘭西。
革命ノ戦争ニ於テ。最モ數々用ヒタリ。○行軍ハ。
如何ナル約束ニ。從フヘキヤ。如何ナル齊整ヲ。為
スヘキヤ。人民少ナキ國へ。軍兵ヲ遣ルニ。如何ナ
ル方畧ヲ。為スヘキヤヲ。詳ニ示ス。最要ナリ。

當時ノ。答屈智幾家ノ。秘スル行軍進退ノ説ハ。余
ニ全ク殊異ナル配意ヲ以テ。明解スヘキヲ。示
セリ。○或人。余ニ簡易ニ為ス。忠告セリ。其故
ハ。軍兵ヲ分隊ニナス。當時ノ齊整。及ヒ諸軍隊ヲ。
同形隊ニ。齊整スルハ。敵ノ目前ニ於テ。為ス諸運
動ヲ。唯ニ容易クセシムルカ為ナリ。然レモ十八
期中ノ。行軍法ノ如ク。齊整ノ軍隊ヲ。諸方位ニ。如
何カ運動ヲ為サシメ得タルカヲ。示シタルニ於
テハ。當時ノ軍隊ヲ。進退セシムル為ニ。多ク難事
ヲ為サス。何一ナレハ。分隊及ヒ隊ハ。大軍隊ナリ。

昔レ「ブリガード」ハ。小軍隊ナリ。因テ小軍隊ハ。大軍隊ノ如ク。特立ニテ。戦争スル能ハサル。差別アレハナリ。

「ゴイベルト」氏ハ。行軍進退ノ説ヲ。明解スルニ。三十六葉ヨリ。多ク用ヒス。然レモ。多ク書キ載スル「テ」ヲ。残セリト。覺ユルナリ。因テ「デ」ヨミニ「氏」。此説ハ。其肝要ノ事ヲ。缺クト評セリ。○此闕遺ヲ補フ為ニ。「テル」ナイ君ハ。其作業ト。其遂クル法ヲ。別ニ書キ著セリ。

第一篇ニ於テ。衆縦隊ニテ。行軍ヲ遂クル要務ト。

及ヒ開ケタル通路。或ハ各行軍ノ為ニ。能ク知レシ方位ヲ。示シタル後ニ。著述家。此要務ヨリ生スル規則。及ヒ規則外ノ事ヲ。記載ス。

行軍動作ヲ。前面行軍。側面行軍。前面ト。側面ト。變化行軍。及ヒ軍隊ノ一部ハ。側面ヲ進行シ。他隊ノ前面ヲ進行スル。行軍トニ。差別ス。○其後ニ。「テル」ナイ君。行軍動作ノ。諸類ニ於テ。撰定スヘキ確論ヲ。述ル「ト」。諸規則ニ從テ。各行軍ノ行道ヲ。開ク「ト」ニ。管スル論ヲ。述ル「ト」ヲ。努力セリ。行軍ヲ遂クル「ト」ヲ。述べタル後ニ。於テ。行軍各種

ノ法ヲ別ニ為ス。要務ヲ示ス。○此軍兵齊整ノ方
畧ノ外ニ。縦隊ニ於テモ。前軍ニ於テモ。後軍ニ於
テモ。或ハ遊軍隊ニ於テモ。諸軍隊ノ備ヘ為スヘ
キ。職務ヲ書キ載セリ。○退軍行軍ヲ。遂クル法ヲ。
述タルニ於テハ。行軍ト退軍トノ際ニ於ル。差別
ヲ見セシムルヲ。確然タラシム。

此單一ノ説ハ。答屈智幾ノ枝葉ニ。必ス附属スヘ
キ。諸明解ヲ書キ與フ為ニ。敢テ忘レサルヲ。十
分ニ説キ示ス。○此法ハ。全ク害ヲ免ルト。余輩ニ
於テハ。言ヒ難シ。然レモ。ゴイベルト氏ノ法ヨリ。

實ニ當然ニシテ。且ツ單一ナリ。而ノ其法ハ。獨逸
ニ於テ。バレンチニ。左ルクレイン。及ヒ「ホフセル」
氏ノ。新ニ説キタル論ヨリ。甚ク理アルナリ。

縦軍隊ヲ。進行セシムル方畧ヲ。説キシ後ニ。戦陣
列ヲ。齊整スル法ヲ。勤メ為ス。當然ナリ。

何トナレハ。戦陣列ノ齊整ハ。少シ不定ノ動作ニ
シテ。然シテ。其軍兵ヲ部スル。大将ノ方畧中ノ。動
作ナルカ故ナリ。○「ゴイベルト」氏。十分ニ。此事ヲ
考察シテ。行軍篇ニ。續ク。三篇ヲ。戦陣列篇ニ。定メ

然レモ。戦陣列ヲ。接近陣列ト。分裂陣列トニ。差

佛蘭西德意志編纂 卷之十一 地理學

別セス。然ノ其説ニ於テモ。亦如何ナル。方畧ニ因
テ以テ。其理ヲ解シ得ルヤヲ。説キ示サス。○余輩
動作篇ノ部ヲ分ルコトハ。此差別ニ。本ツクテ。最要
ナルヘシト。思ヘリ。何トナレハ。一和ノ諸兵力ヲ
以テ。開ケタル平易ノ地ニ。動作スル軍隊ニ。書キ
與ヘタル規則ハ。地形軍隊ヲ分列スルノ地ニ於
テ。戦フ軍隊ニ。相當セサレハナリ。

若シ地形ニ因リテ。常ニ戦陣列ヲ。布クヘキコト。誠
實ナル所ハ。同時ニ。戦陣列ノ諸部曲ヲ。一齊ニ整
ルコト。諸軍隊ノ齊整トハ。須臾モ離スヘカラス

ト。云フコト少シモアラス。是ニ於テ。余輩。諸戦陣列
ニ。普通規則ノ説明ト。定メタル篇ヲ。二目ニ分ツ
コトヲ勸メリ。其一目ニハ。戦陣列ノ。諸部曲ノ連続
ヲ。保ツ法ヲ記ス。又其一目ニハ。各隊ノ殊絶ナル。
齊整。及ヒ其各隊ヲ。一齊ニ連続セシムル。法ヲ記
ス。

若シ此説ニ從テ。此篇ハ。ゴイベルト氏。第一書中
ニ。其模様ニ因リテ。書キ記ス。三兵ノ肝要ナル。答
屈智幾ト。同等ナリト。定ムル所ハ。是レ惑ノ中ニ。
在下謂ツヘシ。○其令ト。其齊整ニ。管シテ説ク所

佛蘭西德意志編纂 卷之十一 地理學

ノ者ハ「ゴイベルト氏甚タ宜ク考正セリ然レモ最モ根本ニ属セリ。○著述家既ニ得ル所ノ理解ヲ確定ス。而シテ疾速異度ノ運動ニ於ル軍隊同方位ニ。動作スルニ於テ。必ス一和ヲ保タサルヘキ規則ヲ確定シタル後ニ。戦陣列ヲ為ス。異隊ノ地位ニ於ル。通常規則ニ因リテ。此連続ヲ作ス方畧ヲ殊異ナル。各軍隊ノ齊整ト。軍隊ヲ全ク一齊ニ齊整スル方畧ニ。移リ行ク前ニ。直チニ。説キ示ス。事實ハ。實ニ新説ニアラス。佛蘭西及ヒ外國ノ著述家。其事ヲ書キ著ハセリ。然レモ。當世ニ於テ。其

事實ヲ。最モ理ニ當リ。最モ法ニ稱ヒテ。詳ニ説ク。最要ナリ。○我國ノ兵學者。カレナシ君ノ兵法ハ。ハレンチニ。テ。カレ。テ。ホウセル三氏ノ兵法ヨリ。最モ優レ。○考試スヘシ。且魯西亞騎將。カウ子。フ氏。歩隊。騎隊及ヒ銃隊ノ事實ヲ。三書ニ。書記スル法ニモ。亦優レリト。考試スヘシ。○戦陣列齊整ヲ。始ムル前ニ。著述家塞攻撃ノ。地位ヲ定ムルニ。管スル規則ヲ。精シク考究ス。○要務。且ツ簡易ニシテ。論スルニ。道ナキ。此法ハ。實ニ。地形ヲ。明知スルノ。學問才略ヲ欲ス。然レモ。風土記

ハ其用法甚々難事タル故ニ勝レテ利便ヲ為セ
シ。當時ハアラス。且ツ此風土記ノ學問諸國人
民ノ軍務ヲ能ク教育セシ。モ亦當時アラス。○
此學問ハ假令ハ我備フル地位ニ從フニ於テ
モ敵ノ地位ニ從フニ於テモ同ク地形ニ從フニ
於テモ攻撃ノ地ヲ撰ラムニ成ル。此事實ハ將略
ノ眼目ヲ為ス。○第一ノ機會ニ於テハ兩軍隊ノ
運動スル線ハ軍隊ノ後ニ在リ。又タ一翼隊ノ延
長ニ在リ。○他隊ヨリ一翼ヲ攻撃スル為ニ理ア
ラサル機會及ヒ敵己レノ後ニ退軍ノ衆方位ヲ

備ヘアルキニ施スヘキ方畧アル機會ハ十分ニ
説キ示シアリ。
終ニ列目ニ諸攻撃ニ於ル普通規則ノ明説ヲ述
ヘリ。○規則ハ百方ナリ。即チ齊整ノ前及齊整ノ
間或ハ攻撃ノ間ニ於ル軍兵ノ職務ニセヨ。其規
則アルカ如ク此事ニ於テ望ムヘキ諸規則ヲ示
ス。○諸運動ヲ陰クスヘキ要務ト攻撃ヲ助クル
地位ヲ備フル最要ヲ示シテ軍兵ノ排列スヘキ
距離ヲ定メカ所及縱隊ニ保タシムル要務ヲ知
ラシメタル後ニ射放大銃ヲ避クルノ理ヲ述ヘ。

軍用學問 卷之十一 陸軍學問 陸軍學問

而シテ銃隊ノ規則ヲ確定ス。是ニ由テ歩隊及ヒ
騎隊ヲ攻撃ニ趣カシムルノ法ヲ發明セリ。
我輩著述家。此部中ニ。察然タル法ヲ書キ示セリ。
ト。我輩ハ思ヘリ。而シテ。攻撃ヲ為スニ用ル。諸事
ノ教ニ属スルヲ。敢テ洩サスト。思ヘリ。
敵ヲ攻撃スヘキ。攻撃運動ハ。敵ヲ擾乱スヘキ。諸
方畧ニ從テ。確定スト。人思ヘリ。因テ諸陣列。齊整
ノ諸方畧ヲ。前ニ研究スルヲ。當然ナリ。○全兵力。
或ハ一部ノ兵力ヲ以テ。前面ニテ。敵ヲ攻撃シ得
サル時ヨリ。外ニハ一和セス。○此單一ノ經驗。既

ニ平行線ト説キタル外ニ。普通陣列及ヒ別陣列
ヲ。明知スルニ導ヒケリ。○此理ハ。余輩ニ既ニ示
セル。諸著述家ノ理ニ。違ヘリ。○古ヲ好シタル驚
クヘキ好古兵法人。マイゼロイ氏。七戦陣列ニ
算セリ。而シテ四角長陣。及ヒ斜陣トノ。兩陣トスレ
ンクライレ^レゴイベルト^ト氏ハ。平行陣列及ヒ斜行
陣列ノ。兩陣ヨリ。他ニ為サス。チヨミ^ミニ氏ハ。初二
翼隊及ヒ前陣ニ。平行陣列。斜行陣列。及ヒ直行陣
列ヨリ。為サバリシニ。全ク新ニ増シテ。十陣トセ
リ。○此ノ如キ。軍政ノ大事ニ於ル。深慮ノ差ハ。此

著述家。戰陣列ヲ確定スル。源論ニ。絶テ遡ラサル
コトヲ。十分ニ示セリ。○然レモ。若シ諸兵カヲ。運動
セシムル。平行陣列。他隊ト合一シアラサルキハ。
別戰陣列ニアラサルコトヲ。證スルハ。甚タ易シ。然
ノ一翼隊。兩翼隊。中軍。敵ノ側面。或ハ後軍ヲ。襲撃
シ得ル如ク。一翼隊。兩翼。中軍。或ハ側面。或ハ別軍
ノ。攻撃齊整ヲ。為スコトモ。亦證スルニ甚タ易シ。
斜行陣列ヲ。賞賛スル為ニ。著述家ノ黨。專ラ勞意
シテ。高尚論ノ。此撰集ヲ為ス。是レ軍隊番守ヲ為
ス。動作ニ於テ。斜行陣列ヲ為ス。又タ合戰ノ日ニ。

線ノ右左。或ハ中隊ヲ。堅固ニスル為。或ハ敵ノ後
部ニ。走り趣ク為ニモ。亦同ク斜行陣列ヲ。為スナ
リ。○布列弟列幾ホ。ストダムニ於テ。軍兵ヲ開ケ
ル。縦隊ニ作ス為。或ハ他隊ノ端ニ。密縦隊ニ作ス
為ニ。平行線ノ如クニ。調ヘタル。兩線ノ一ニ。為サ
レムル動作ヲ。作スルニ於テモ。布列弟列幾。斜行
陣列ヲ。作サス。然レモ。別攻撃ノ齊整ヲ作セリ。○
神武ノ那波拿ハ。絶ヘテ斜行陣列ヲ。作スヲ許サ
ス。

著述家。此七戰陣列ノ利。及無害。并ニ前面行軍ノ

信實正統... 卷之... 連理堂... 莊

續キニ於テ。常ノ模様ニ於ル。布陣法ヲ示スニ。意
ヲ固フセリ。○非常ノ時ニ於ル。布陣法ニハ。別目
ニ記載ス。其別目中ニハ。前面進行ヲ為ス。軍隊ハ
側面。或ハ後部ニ於テ。攻撃齊整ヲ作ス為ニ。進行
列ヲ變スルヲ記載シアリ。或ハ退行軍ヲ為ス。
軍隊ノ前面ニ。攻撃齊整ヲ作スヲモ。亦記載シ
アリ。
之ニ由テ。前面行軍ノ續キニ。戰陣列ノ齊整ノ理。
生スルヲ。此ノ所ニ見ルヘシ。然レモ。側面行軍
ノ續キニ。為ス所ノ。戰陣列齊整ハ。全ク他ノ配慮

ヲ欲ス。○著述家。側面行軍ノ前面ニ。攻撃齊整ヲ
作ス。難事ヲ。附録シタル。指意ヲ評スルヨリ。始メ。
而ノ後ニ。目ニ留マル。誤謬ヲ。検査スヘシ。
軍兵。側面行軍ニ相ヒ。統キテ。同時ニ。稀ニ全ク齊
整ヲ為ス。理ヲ述ル後ニ。著述家。全軍隊。漸クニ齊
整スル三模様ヲ。差別ス。○然レ後。平行線ノ齊整。
翼攻撃ニ。管スル齊整。側面攻撃ニ。管スル齊整。及
ヒ後軍攻撃ニ。管スル齊整ヲ。作ス。方畧ヲ説ク。是
レ側面行軍ノ統キニ。戰陣列ノ齊整ニ。管スル動
作ニ。因テ。軍隊ノ中ヲ。開キ顯ス。容易ナラサル

弗爾西... 卷之一... 連理堂... 莊

傳習錄 卷之一 序 連理堂藏

カ故ナリ。

常時ノ戰陣列齊整ハ。非常ノ形勢ニ於ル。攻撃陣
列ノ法ニ從フ。○最モ自然ノ順次ニ依テ。テ
君直チニ側面進行ノ側面ニ於テ。齊整スル法
ヲ備ヘ設ク。其法中ニハ。側面運動ヲ為ス軍隊。進
行ノ前面ニ於テ。齊整ヲ為スキノ。規則ヲ書キ示
ス前ニ。習熟ノ順列ヲ。変スルヲ。務メテ記載ス。
此ノ如キ。機會ニ於テハ。敵ヨリ前面ヲ掩ハレ
ル。側面進行ヲ為ス軍隊ハ。退去ノ理アリ。又々其
意ニ隨テ。攻守ノ齊整ヲ。為スノ理アルヲ。見ル

ヘシ。且ツ若シ敵。前面及ヒ側面ヲ。襲フニ自在ナ
ル時ニ當テ。敵進行ノ前面ヨリ。襲撃セサル機會
ニ於テ。施スヘキ方畧ヲ。為スヲ見ルヘシ。

前面進行。側面進行ニ。相ヒ統テ。戰陣列ノ齊整ニ。
確定シタル規則ハ。前ニ述ルカ如シ。然レモ其論
ヲ。十全セシムル為ニ。齊整及ヒ不齊整。相混シタ
ル行軍ニ。統キテ。戰陣列齊整ノ。全篇并ニ。非常ノ
形勢ニ於テ。相ヒ混シタル。行軍ニ統テ。戰陣列齊
整ノ篇トテ。別篇トセリ。
此論ハ。人ノ見ル如ク。軍争ノ諸模様ヲ。含容ス。而

弗蘭西古兵法 卷之一 序 連理堂藏

シテ戰陣列ニ記載セル軍務トハ。全ク異ナリ。○
我輩十八期十九期間ニ於テ。最モ有名ノ。大將ノ
勇武ヲ引擧シタル例ニ。因リ基キタル教ハ。答屈
智幾ノ研究ニ。精微ヲ極メント欲スル。武夫ニ。最
モ要務タルヘシト。思フナリ。

「テルナイ君ハ。諸先哲ノ。施シタル法ニ從ヘリ。然
レモ。我輩ハ。其法全ク先哲ヨリ。相ヒ隔絶スルト。
目撃スルニ至ル。○實ニ。先哲ハ。合戰。戰勝後ノ尾
撃。及ヒ退軍ヲ。殆ント同時ニアラサル。別運動ノ
如クニ。考察セリ。○其教法ニ於テハ。之ニ反シテ。

作業ハ。鎖ノ如ク。連續セリ。何トナレハ。著述家。戰
陣列。齊整ノ後。其動作ハ。軍隊ノ。部署ヲ。定ムル。策
ヨリ外ナラス。又タ敵ヲ襲フ。策ヨリ。外ナラス。又
タ勝ヲ取ル。策ヨリ外ナラス。又タ終ニ。退軍ヲ全
ク為ス。策ヨリ。外ナラサルヲ。目撃スレハナリ。○
此說ニ從テ。軍隊。各部曲ヲ。禁シ。拒マサル機會ト。
又一部曲ヲ。拒ム機會。及ヒ諸分隊。同線ノ。方位ニ
於テ。動作スル機會トニ。差別スルナリ。
退軍ノ動作ニ。管スルヲ。就テハ。テルナイ君。異
ナル。模様ニ於ル。別規則ヲ。定ムル。前ニ。諸事ニ。普

通ノ規則ヲ直ニ書キ示セリ。○退軍セント決スルヤ否ヤ假令ヘ軍隊全ク戦争シアルニモセヨ。又タ一分隊カ數分隊ヨリ戦争シアラサルニモセヨ。全軍或ハ一軍隊ヲ防キ覆フニ善キ諸寨及ヒ諸地ヲ備ヘ設クルニ因テ其事成ル。又タ銃隊齊整ニ最要ノ変化ヲ為スト。戦ハサル軍兵ヲ收ムルヲ并ニ攻撃ニ因テ軍隊退去ノ動作ヲ救援ノ難易アルキニ為スヘキ変化ニ因リ。又タ若シ敵遁走ノ兵ヲ蔽シク尾撃セサル時ト我軍一二狭道ヲ退去スルキニ於テハ伏兵ヲ設クルニ

因テ其事成ル。

此ノ如ク戦陣列齊整ノ後ニ諸動作ヲ堅固ニナストハ戦争篇戦勝後ノ尾撃篇退軍篇ニ於ル。答屈智幾ノ諸方畧中ニ記スヘキ諸事實ヲ洩スナシ。○我論中ニカリモ「ド」氏ノ長篇中ニ在ル諸事ヲ書キ加ヘリ。而ノ其著シキ事實ニ於テハ勞セスシテ深慮ノ兵學者ニ感得セシメ得ル教法中ニ教ノ一部ヲ示セリ。又同ク本教精學ニ基キタル諸附録ヲ論中ニ加ヘ刻セリ。ウーランド氏ノ論説ヲ除クニ因テ答屈智幾ノ

諸論篇ニ。空紙篇ヲ生セリ。因テ防戦ニハ。從來必
トスル戦陣列ヲ。論述スルヲ無ク。防戦ノ事ヲ。其
空紙ノ部ニ。書キ入レリ。而シテ「ルナイ君。其空紙
ヲ書キ填テ。而シテ其事ノ宜シキニ。適セシムル為
ニ。努力セリ。○此瑞西軍吏ノ如ク。守防禦。戦防禦。
或ハ守戦相半スル防禦ノ教ヲ。説キ示ス。附
セリ。
然レニ。騎將「ウーランド」防禦戦陣列ノ不備ハ説
ヲ。述ヘタル後ニ。守防禦。戦防禦ノ短説ヲ書キ著
セリ。然レニ。確定セス。且ツ惑ヲ免レ難シ。○我輩。

此両防禦。及ヒ守戦相半スル。防禦ノ利害ニ。貫通
セシムルハ。最要タルヘキト。此各防禦ヲ。用ヒ
ル好機會ヲ。決定スルハ。最要タルヘシト。考察
セリ。
私多刺的義。及ヒ答屈智幾ノ理ニ。因テ。指揮シタ
ル守防禦ニ。定ムル要務。我輩ニ。要地ヲ奪畧シテ。
之ニ據ル如ク。全ク此類ノ防禦ハ。地形ノ善キニ
因ルヲ示セリ。因テ我輩。直チニ。地位ノ撰ヲ為
スヘシ。其後ニ。其地ヲ奪畧スルノ方畧ヲ。熟考ス
ヘシ。然ノ後ニ。處ニ。軍兵ヲ配ル。熟考スヘ

シ。然レ此是レ戦争ノ間ニ施シ為ス。方畧ヲ令スル前ニ為スヘシ。

防禦ニ用ル。軍兵ノ力ヲ倍スル戦防禦ノ教ハ。廣ク排列スルヲ欲ス。即チ此ノ如ク。從來防禦ニ善キ地位ノ撰ヲ記シ。且ツ其地ヲ奪畧スルノ方畧ヲ記シタル後ニ。我輩軍隊ノ必ス為スヘキ軍務ノ規則ニ。大ナル延張ヲ為ス。フヲ書キ與ヘリ。○敵其攻所ヲ定メス。處々ヲ攻撃シ得ル地位ト定メタル攻所ヲ。努力シテ攻撃スル地位トテ。差別スルニ管シテ。我輩勤メテ順ヲ以テ。書キ示スヘ

シ。○第一ニ。別堡ヲ應接ノ方略。○第二ニ。平行線ノ攻撃。單翼ノ攻撃。兩翼ノ攻撃。及ヒ前面ノ逆戦ニ。因リテ。中軍ノ攻撃ニ向ヒ。拒ミ戦ノ方畧。○第三ニ。側面。及ヒ後軍ノ逆戦。○敵。我軍隊ノ側面。及ヒ後陣ニ向ヒ得ル攻撃ヲ。向ヒ支フル方略。○我輩戦争ノ際。注意スヘキ。常規則ヲ記載ス。是レ戦勝ヲ速ニ得ル為メト。退軍ヲ覆ヒ全フスル為メナリ。

此ニ至ルマテ。守防禦。及ヒ戦防禦ノ法ヲ。施スヘキ形勢ノ外ヲ。説カス。然シテ要害ニ據ル。防禦ノ

伊藤田各居督... 卷之一序
伊藤田各居督... 卷之一序
送理堂...
送理堂...

事實ハ。此法ノ彼此ニ相當ルヲ。甚タ稀ナリ。而ノ防禦ノ類。數々其攻撃ノ地位ニ因テ。異ナルナリ。○守戦相半ノ防禦法ハ。他ノ兩防禦法ヨリ。多ク常ニ施シ。用ルナリ。○其他防禦ニ送リ遣リタル。軍隊ノ位地ニ管シテ。而メ戰防禦ノ諸利ヲ。守防禦ト殆ント與ニス。○地形ノ撰ニ於テ。為スヘキ要務。要地ヲ奪略スヘキ方略ノ要務。要地ニ兵ヲ置ク要務等ハ。全ク是レニ因ルナリ。若シ著述家。接近戰陣列齊整ノ規則ヲ。説クニ決定スルハ。其日課ノ半ヨリ。多ク業ヲ果ス。

能ハサルヘシ。何トナレハ。嶮地絶地ニ於テ。數々用ユル。別隊戰陣列齊整ニ於ル。規則ヲ書キ著シ。得サレハナリ。○然レモ。直説スルハ。特立ノ別隊ナリ。何トナレハ。離間隊列ノ齊整ハ。接近隊列齊整ト。一二ノ同規則アリト雖モ。茲ニ長論シタル。諸法則ニ於テ。實ニ異ナレハナリ。著述家。事ヲ深慮セル方略ノ。指意ヲ書キ與フルヲ。熟考スヘシ。○開ケル平易ノ地ニ於テ。離間隊列ノ攻撃齊整ヲ。書キ與ヘタル理ヲ。述ヘレ後。或ハ他ノ地形ニ於ル。最要ノ理ヲ。説キテ。其妨害

伊藤田各居督... 卷之一序
送理堂...

無キヲ見セシメ。而ノ其利アルヲ。證セシ後ニ。地形ノ利。不利ニ。附属スル一篇ヲ。記載ス。他ノ篇ニ於テ。軍隊ノ諸部曲集合ト。隊列齊整ヲ記載ス。而ノ。第三篇ニ於テハ。行軍隊列ヲ。整ヘアルニモセヨ。又々整ヘアラサルニモセヨ。攻撃ヲ為スヘキ。方畧ヲ記載セリ。○茲ニ別レテ動作スル。軍隊ノ合一ヲ為ス法。各軍隊ノ職務。及ヒ軍隊ノ。必ス為スヘキ。動作ノ規則ヲ。明カニ説ケリ。○此外ニ。攻撃ヲ俱ニ与ニ。為スヘキ方畧。別クニ。攻撃ヲ為ス方畧。第二陣ニ。戦フヘキ軍隊。戦ヲ始ムヘキ。機

會ヲ定ムル方畧。戦陣列ノ一部曲ヲ。堅固トラシムル方畧。若シ一ニ。軍利ヲ。得タル時ニ。為スヘキ方畧。平行線。或ハ同線ニ於テ。戦フタル軍隊ヲ。一ニ集會セシムル方畧。若シ敵據ル所ヲ。棄テ去ル時カ。或ハ一部曲ヲ。残シ置キシ時ニ。尾撃ヲ為シタル軍隊ヲ。收ムル方畧ヲ。此篇ニ於テ。闡ス。我輩。離間隊列ニ於ル。防禦齊整ニ。管スル諸規則ヲ。終篇ニ撰集シタルニ因テ。此兵理ヲ十全タラシメリ。○其無害。及ヒ其利徳ヲ。簡易ニ述ヘ。而ノ軍利。得ル。機會ヲ示セル後ニ。我輩。敵ヲ欺計ニ。陷

レ入ル方略。或ハ敵ヲ拒ミ支フル方略ヲ説明ス
ヘシ。是レ敵諸方ヨリ前面ヲ撃ツノ策略ニテ。掩
ヒ至ルニモセヨ。或ハ又々諸進兵ノ口ヲ覆ヒ陰
クスニ。善キ地形ノ助ニ因テ。敵兵至ルニモセヨ。
其敵ヲ拒ミ支フル方略ナリ。

「テ」ルナ「イ」君。義理切實ノ規則ニ基キタル。答屈智
幾ノ學理ヲ高尚ニ為ス為メニ。其理ニ從ヒ。作セ
ル行軍ハ。此ノ如シ。○「テ」ルナ「イ」君。カ「ソ」
ル規則ヲ撰集セリ。何トナレハ。義理切實ノ。此法
則ハ人渴望スル所ノ。學問ニ於ル議論ノ精神ヲ。

和解スレバナリ。○我輩。證據トナル軍争ニ。常ニ
附スル。重大事ニ因リテ。嗜新ノ心ヲ。猶小勸進ス
ル為ニ。最モ新ナル。戦争ノ例ヲ。引奉スルハ。宜シ
ク望ム所ナリ。然レモ。十全ヲ得ルヲ難シ。○帝國
革命ノ戦争ニ於テ。最モ美名ノ軍功ヲ。速カニ書
キ記ス。○衆多ノ例ハ。七年間ノ戦争ヨリ。引舉セ
ルヲ見ルヘシ。○行軍ノ勇武。及ヒ迅速トニ因
リ。茲ニ施ス所ノ。私多刺的義ト。答屈智幾トノ。合
一スル策略ニ。因リテ。帝國革命ノ戦争ハ。其策略
ニ。偏固スルノ。氣運ヲ始メリ。○那波拿ハ。人ノ説

伊藤氏答問 卷之一 三十一
如ク、布列弟列幾ノ兵法ヨリ。他ノ兵法ニ則ト
ラス。然レモ、戦ヲ好ミ。新戦勝ニ因テ。美名ヲ揚ケ
タル。三十百萬ノ君主。其兵法ノ助ヲ用ヒ。益サン
コヲ。少シク恐レテ。其兵法ヲ。最モ大梯上ニ。倣ヘ
置ケリ。○歐羅巴ノ驚嘆ト。恐怖ヲ起セル。大人ノ
事業ハ。是ニ依テナリ。○國內ニ於テ。軍隊齊整ノ
改正ハ。疑ヒヲ容レズ。其戦勝ヲ容易ニ。得セシメ
リ。
我輩。卒業ニ及ヘル。此書ト。其法ノ真意ヲ。知ラシ
ムル為ニ。充分ニ述ヘ説ケリ。○我輩ノ渴望スル

所ハ。之ヲ採用セラレンコト。是レナリ。然ノ我輩。兵
学者ニ。著述家ノ。走行スル道上ニハ。其形悪シク。
植ヘタル列樹ヨリ。他物アラサルコトヲ。必ス忘却
スヘカラサルコトヲ。伏メ請フ所ナリ。

伊藤氏答問 卷之一 三十一
三十一
三十一

佛蘭西答屈智幾目錄

通理堂藏

Table with multiple columns and rows, containing the main text of the table of contents, which is mostly illegible due to fading.

福

佛蘭西答屈智幾目錄

Table with multiple columns and rows, containing the main text of the table of contents, which is mostly illegible due to fading.

佛蘭西答屈智幾 卷之一 目錄 通理堂藏

佛蘭西答屈智幾卷之一
卷之三
達理堂藏

諸軍隊。敵近キ所ヲ為ス。進行ノ論

攻撃行軍ヲ為ス

前面行軍ノ作業

卷之三

側面行軍ノ法

前面ト側面ト變化スル。行軍ヲ開ク

軍隊ノ一部。側面ヲ進行スル際ニ。他隊ハ前

面ヲ進行スル。行軍ヲ開ク

佛蘭西答屈智幾卷之一

佛蘭西答屈智幾卷之一

的悽那隈 著

日本

村上英俊 譯



行軍篇

第一綱

第一章

若シ軍政ノ大事ニ。管スル兵学ノ類ヲ。差別スル
キハ。行軍ハ。軍術ノ。最モ著シキ類ニシテ。須臾モ。
離スヘカラサル者ナリ。○實ニ進行スルニ於テ

佛蘭西答屈智幾

卷之一

達理堂藏

伊藤田答屋督義 卷之一 連理堂 痛狀

ハ。攻撃ヲ始メ。而ノ後ニ。弱敵勝利ヲ。授クルノ地
ニ。移リ進ムナリ。○實ニ攻撃陣列ヲ。齊整スル為
ニ。進行スヘシ。勝利ヲ速ニスル為ニ。進行スヘシ。
終ニ。統テ退軍ヲ。為サシムル為ニ。進行スヘシ。
行軍ノ齊整ハ。少レモ防禦法ノ部ニ。管セス。攻撃
ノ策略。十分ニ画餅トナリシヲ。幾何モ。人之ヲ
見ス。何トナレハ。防禦ニ備フル敵ハ。攻撃スヘシ
ト決シタル諸隊。會合ノ前ニ。諸防禦法ヲ為シテ。
其集會ヲ。妨クルカ故ナリ。
行軍ヲ。十分ニ。數々。遂ケ得ル。戰爭ハ。有ルヲ。少ナ

シ。何トナレハ。側面或ハ後軍ヲ。越ヘ行クヲ容易
ナル。戦地ヲ見ルヲ。稀ナルカ故ナリ。而ノ或ル地
ニ。防禦ノ地位ヲ。占メ得ス。守兵アラサル處ニ。衆
多ノ軍兵ヲ。集メ得ス。地位ヨリ。地位ニ。相ヒ退キ
得ス。或ハ戦ヲ挑メル敵ヲ。追ヒ退ケ得ス。又々廻
リ得サルキハ。常ニ軍利ヲ得テ。堺界ヲ。防守スル
能ハス。○若シ戦勝ヲ得タル後ニ。其戰場ヲ。保ツ
トニテ足レリトスルキハ。何ノ為ニ。戦勝ハ。其用
ヲ為スカ。敵退軍ノ後ニ。一。二千人ノ失込ヲ。點檢
スルキハ。新タニ他道ヨリ。襲撃ヲ為スヘシ。而ノ

佛蘭西答屋督義 卷之一 連理堂 痛狀

軍利ヲ得ルニ由テ。戰ヲ止ムヘシ。

第二章

此理ニ因テ。余ニ行軍ノ理ヲ以テ。此書ヲ書キ始ムルヲ決定セシメタリ。

第一ニ。行軍ヲ敵ノ彈丸。至ラサル地ヲ為ス。即チ

敵行軍ヲ擾乱スル為ニハ。甚タ遠隔シアル地。或

ハ軍隊ヲ。山ニ因テ。隔テアル地。或ハ通行シ難キ

地。或ハ大川ニ因テ。隔テアル地ナリ。

第二ニ。敵ノ近キ所ノ。行軍ヲ為ス。

第三ニ。若シ軍隊ノ一部ノ。敵ノ彈丸。至ル地ニ。

在リテ。而シテ他人ノ軍兵ノ動作ヲ。覆ヒ助クルキニハ。行軍ヲ。為シ遂クルナリ。行軍諸類ノ差別ハ。此書ノ部類ヲ書キ著スノ謂ナリ。

第三章

敵ノ銃彈。至ラサル地ヲ。為ス行軍。

行軍ノ法ハ。軍隊ヲ或ル地ヨリ。或ル地ニ移シ。或

ハ又タ。大迅速ニ。軍隊ヲ。進マシムルノ教ヲ。為ス

ナリ。是故ニ。余。敵ノ銃彈。至ラサル地ヲ。為ス行軍

ヲ。常行軍。急行軍。迅行軍トニ。差別スルナリ。

伊藤西谷履齋 卷之一 連理堂 滄井

第四章

常行軍

常行軍ノ常則

軍隊ハ。常ニ常行軍ヲ為ス。假令ヘハ。軍隊互ニ。相
ヒ近クキハ。戦ヲ始ルニ於テモ。或ハ又タ。陣營ヲ
下スニ。趣クニ於テモ。又タ異ナル事ニ因テ。戦ヲ
止ムルニ於テモ。常ニ常行軍ヲ為スナリ。○此類
ノ行軍ヲ為スハ。甚タ単ナリ。即チ軍兵ヲ。ナルベキタケ力所及
罷勞セシメス。甚タ簡易ニ。進行セシムルト。戦争
ノ間ハ。其糧食ヲ。給シ得ルヲ。先慮シテ。國カラ。

多少節儉ニスルヨリ。他ノ筭ハアラサルナリ。

第五章

衆多ノ縦隊。行軍ヲ為ス要務。

軍隊ヲ殆ント。同シ分隊ニ。分列スル要務ハ。諸運
動ヲ。容易ニ為ス為メト。殊ニ。次ニ於テ見ル如ク。
陣列齊整ヲ。容易ニナス為メナルヲ。人皆之ヲ
解セリ。○大道ノ行軍ニ於テハ。此分隊ヲ。絶テ變
化セス。蓋シ此分隊。軍略ニ因ルニ。非サレハ。其熟
練ノ利用ヲ。為スト大ナラス。○若シ軍隊ノ。諸分
隊。一齊ニ進行ニ。在ルキハ。其進行ヲ為ス地ノ。此

佛蘭西 卷之一 連理堂 滄井

所彼所ニ。一分隊ヲ。分クルヲ為サス。○若シ之ニ反シテ。諸分隊。漸クニ出行スルキハ。力所及。同時ニ。各分隊ヲ。出行セシムヘシ。○若シ。國ノ軍政ノ缺ニ。因テ。平和ノ時ニ。同分隊ノ兵士ヲ。分散シアルキハ。戦争ノ始マル前ニ。彼兵士ヲ。招キ集ムルヲ。務ムヘシ。兵士ハ。其指揮ヲ為ス。大将ノ命ニテ。立刺ニ至ルヘシ。兵士至ルキハ。大将之ヲ。部署スヘシ。○武器ハ。戦争ノ前ニ。説示セシ。法ノ如ク。兵士其戦争ノ間。常ニ意ヲ用ヒテ。之ヲ用ユヘシ。

第六章

縦隊ニ騎兵歩兵ヲ相ヒ雜ヘ為ス法
馬ニ秣ヲ蓄ス。配意ニ勞スル。難事ニ因リテ。秣ニ戦争ノ始ニ於テ。前行進行ヲ為ス地ニ。騎兵ヲ分散セシムルヲ。數々為サシメリ。然レモ。歩兵ト相ヒ混乱スルノ。害ナカラシムル為ニ。歩隊ノ出陣スル前。一日カ。或ハ。出陣ニ。一日後レテ。出行セシムルニ因テ。其混乱ヲ。防キ無カラシム。此軍隊ノ分隊ハ。前行進行ヲ。為ス地ニ於テ。廣マルヘシ。而シテ。見知り易キ所ニ。止マルヘシ。其故ハ。狭道ト。

村中ノ屯所ハ。前行進行ノ廣マリト。同時ニ進ム
所ノ軍士ノ數トニ因テ。増セハナリ。

第七章

此法則ニ違フヘキ一事アリ。若シ軍隊戦争ニ在
ルキハ。一隊或ハ二三隊。別レテ。戦ヲ為ス隊ヲ。調
ヘルコアリ。

第八章

兵士頓舎ノ要務

兵士。常行軍ヲ。為レ終ルキハ。常ニ頓舎ス。其頓舎
ノ地。狭キキハ。最モ簡易ニシテ。善ナリトス。若シ

歩卒。其國ノ人。民ヨリ。兵食ヲ求メサルヲ。得サル
キハ。歩卒ノ散居モ。亦善事ヲ増ス。然レモ。全ク妨
害ヲ免カル。コトヲ得ス。即チ諸方ノ番兵人負ヲ。
衆多ニ増ス。故ヲ以テ。諸隊ノ人負ヲ。減スルナリ。
因テ番守ノ煩勞ト。頓舎ノ簡易ト。其功害。相ヒ稱
ヒリ。○非常ノ大軍ヲ。狹隘ニ苦シムルヲ。避クル
為メト。分散ヲ。避クル為メニ。其通行スル國ノ。住
人ノ産業。及ヒ其性質。其住居ヲ。詳ニ知ラスンハ。
有ルヘカラス。

第九章

廣狹ノ頓舎ノ利害

常行軍ニ於テ。定メアル地位ニマテ。兵士ヲ分散
 セシムルノ利アルキハ。兵士ヲシテ。少シモ狹迫
 ノ。患ナカラシム。其故ハ。分散ノ兵士ハ。相待ツ
 ヲ為サス。故ニ歩卒。進行ノ久キト。不同トノ理ニ
 因テ。常ニ勞罷スル。長縦隊ヲ為ス。モ。無ク随意
 ニ。進行シ得レハナリ。○道路狹キ國ニ於テハ。猶
 困難ヲ起スノ道理ヲ以テ。常行軍ノ時ニ當テ。敵
 ノ尾撃ヲ。為シ得ル。進鬪ノ狹迫ヲ。起ス。ノ思慮
 ナク。前行進行ノ廣マリヲ。為サシムル。ヲ。時ト

シテ。定メシナルヘレ。

諸軍隊ノ為ノ行道ノ撰

狹道ノ妨害ハ。歩隊ニ於ルヨリ。騎兵ニ於テ。猶ホ
 大ナリトス。

- 第一ニ。騎兵隊ハ。從來歩兵隊ヨリ長ク。且ツ歩
- 兵隊ハ。同時ニ。騎隊ノ脇ヲ。進行スルノ故ナリ。
- 第二ニ。騎兵數々止マリ。又々不同ニ。進行スル
- キハ。歩兵ヨリ。猶多ク荒シ。損スレハナリ。

故ニ此ノ如キ類ノ。狹道通行ハ。騎兵ニ避ケシム
 ヘシ。騎兵衆多ノ隊ナルキハ。殊ニ避ケシムヘシ。

是故ニ騎隊ノ分隊ハ山國ノ横行ニハ必ス嚮ハ
シメス。又狹道アル國ニハ嚮ハシメサルヲ
務メ為スヘシ。

容易ノ通行ヲ為シ難キ山中ニ於テハ常ニ秣ヲ
得ルヲ少ナルカ故ニ前章ニ述ル法ヲ善トセリ。

○第一第二ノ兩事ハ少シモ缺クヘカラス。然レ
凡通行為シ易キ少シ廣キ谷ハ秣ヲ得ル為ニ大
ニ助ケヲ為スモ亦之アルナリ。

常行軍ニ於テ歩隊ト騎隊トノ相ヒ列スル齊整
ニ管スル常則ハ如何ナルヤ。此章ヲ見ルヘシ。

第十章

縦隊中ニ銃隊ヲ列スル法

歩隊ノ分隊ニ附属スル銃隊ハ歩隊ノ後ニ續ク。
或ハ兵卒ノ取ル所ノ道儉難ナルハ別道ヲ行
ク為ニ相ヒ別ルナリ。若シ車通行ノ道路甚タ少
キハ同シ道ヲ相ヒ續クノ為ニ衆多ノ銃車ヲ
一ツニ為ス。○若シ進行ノ道大ナル谷間ヲ為ス
ハ輜重ヲ包荷トナス。○大道ヲ必ス通行スヘ
シト。定タルハ山國ニ於テモ銃隊及ヒ輜重
ノ列ヲ増ス。即チ次法ノ如シ。

第一ニ。戦争ノ始ニ於テ。其守護切實ナル馬ノ。一群ニ因テ。其勞ヲ避ク。其故ハ。隊後ニアル馬ノ。引ク車ハ。先行ノ車ニ因テ。損シタル道ヲ。引クヲ以テ。其勞多ケレハナリ。

第二ニ。銃隊輜重ノ。進行ヲ急クナリ。其故ハ。少シ強壯ナル隊ハ。甚タ速ニ進ムノミナラス。猶ホ四馬ヲシテ。引カスル車。五百ハ。一列ニナシテ。進行スルナリ。五^キキロメートル^トト^レス。一^キキロメートル^トト^レス。ハナリ。即チ五里ノ長ヲ為セハナリ。故ニ其引ク^ハ。僅ナル為メニ。多クノ分隊ニ為シ。日ヲ殊ニ

シテ。出行セシムヘシ。○常行軍ニ於テ急行ヲ為スハ。其法則ニ非ラスト雖モ。若シ之ヲ為ス^ハ。必ス評ヲ打ソヘカラス。若シ車通行スヘキ道。數多アル^ハ。輜重ノ各隊ニ属スル分ハ。各隊ニ相続ク為ニ。分配スヘシ。糧食車。及ヒ病屋ハ。別ニ隊列ヲ。為スヘシ。

第十一章

常行軍ヲ整ヘル軍令

常行軍ノ齊整ハ。必ス隊將ニ注目ス。隊將ハ。分隊及ヒ軍兵ヲ指揮スル軍吏ニ。日毎ニ其頓合スヘシ。

キ本營ト。營ト指示スル。運動ノ命令ヲ令ス。○此
令ノ後。隊將ヨリ。知セテ受ケレ後ニ。各分隊ノ軍
吏。其營ノ分配ヲ軍兵ニ為スナリ。

道路及頓舎淹苗ヲ知セル法

軍隊ノ分隊。全ク同時ニ。進行ヲ為シ。又タ漸クニ。
進行ヲ為ス。トテ既ニ説ケリ。此漸クニ。進行ヲ為
スハ。最モ數々ナリ。其故ハ。兵卒各自。居ル地位ニ。
多ク隔絶スレトナク。諸分隊。同時ニ進行ヲ為ス
キハ。其屯營ヲ。廣ムル。ト容易ニ非ラサレハナリ。
○諸分隊。如何シテ。同時ニ出行シ。又タ漸クニ。出

行スルヤ。次ニ示セル法ニ從テ。一ツノ表ヲ。知ラ
スヘシ。此表ニハ。毎日ニ。各隊。各分隊。車隊銃隊ノ
頓舎スヘキ本營。若シ銃隊兵士ヲ。後ニ統ケサル
トハ。并ニ分隊ノ淹苗スヘキ。頓舎本營ヲ。記載シ
アリ。

那布列私ノ軍隊。千七百九十九年。以太利軍
ニ。抱川ノ側ニテ。合セント欲シ。自國ヲ出陣
セシ時ニ。頓舎スル地ヲ。記載セシ表。

月日 前軍 第一分隊 第二分隊 銃隊 本營

大將サレム 大將ヲヒール 大將ルスカ ブリクテノ長

步兵三千人 歩兵五千 歩兵單食 サルハ
 騎兵千人 騎兵七百人 騎兵八百人 六百人 二百人
 大銃五千三 大銃三百 大銃百三十

五月九日		カボウ	カセルテ		ナブレス
十日	セスサ	サンゲルマノ	フレセンザノ	カボウ	
十一日	ボントツウガ リグリノ	アルセ	サンゲルマノ	モラジガータ	モラジガータ
十二日	モラジガータ	イソラ	アルセ	テラレ子	テラレ子
十三日	テラレ子	ヘロリ	イソラ	ヘレトリ	レステルナ
十四日	レステルナ	ヘレンチノ	ヘロリ	アルバノ	ゲンサノ
十五日	ゲンサノ	ハルモント子	ヘレンチノ	羅馬	羅馬

十六日	羅馬	フラスカチ	ハルモント子	滯苗	滯苗
十七日	モンテロレ	羅馬	フラスカチ	滯苗	モンテロレ
十八日	ヒテルベ	モンテロレ	羅馬	滯苗	ヒテルベ
十九日	ボゼルナ	ヒテルベ	モンテロレ	モンテモレ	ボゼルナ
廿日	アタベンデンテ	ボゼルナ	ヒテルベ	ヒテルベ	アタベンデンテ
廿一日	ラジコハニ	アタベンデンテ	ボゼルナ	ボゼルナ	ラジコハニ
廿二日	ボシコンヘント	ラジコハニ	アタベンデンテ	アタベンデンテ	ボシコンヘント
廿三日	レー子	ボシコンヘント	ラジコハニ	ラジコハニ	レー子
廿四日	バルベリノ	レー子	ボシコンヘント	サンキリコ	バルベリノ
廿五日	フロレンセ	バルベリノ	レー子	レー子	フロレンセ

邦南西
卷之二
七

伊藤西谷居七
卷之十一
二十
連理堂
精

廿六日 エムホリ フロレンセ バルベリノ ボギボンヂ 滯苗

廿七日 ポントデラ ヒストイー フロレンセ バルベリノ 滯苗

廿八日 ヒセ サンマルセロ 滯苗 フランセ 滯苗

第一。頓舎ノ諸地ヲ。知ラスル軍政ヲ。記シタル表ニ於テ軍兵滯苗ナレニ。二十日ノ進行ヲ。為セルヲ見ル。

第二。羅馬ノ高處ニ。至ルヨリ。絶ユル間ナク。順ニ傳舎。及ヒ哨堡ニ入り。而シテ同シ道ヲ。勉メテ続行セシヲ。記シタル表ニ於テ。之ヲ見ル。
第三。縦隊ノ為ニ。通行為シ易キ道ヲ。別ニ取り

タルヲ。記シタル表ニ於テ。之ヲ見ル。

此表ハ。大將「マクドナルド」部スル所ノ兵士ヲ。率ヒテ胞川側ニ在ル。以太利軍ニ合セント欲シ。五月十日。ナブレスタ。出陣セシキニ。兵士ニ示セル。行軍ノ軍令ナリ。

第十二章

簡易ノ法ニ因テ。大道進行ヲ。為シ遂クル為ニ。用ユル道ヲ。多クスルハ。其利アルヲ。既ニ示セリ。然レテ形勢ニ因リテハ。軍士川ヲ渡スヘキ。橋ヲ増シ。多クスルヲモ。亦同ク利アリ。然リト雖モ。若

弗蘭西略記
卷之十一
連理堂
精

シ衆多ノ軍隊。同シ狹道ヲ。相続キ行クヲ為ス
カ。又同シ橋ヲ。渡ラント欲スルキハ。分隊ノ長。若
シ其兵士。同分隊ノ者ナルキハ。其兵士ニ。通行。渡
橋ニ至ルヘキ。定時刻ヲ定ムヘシ。

第十三章 縦隊十字形ニナルヲ避クル為ノ

先慮

陣列齊整ノ。常法ニ於テ。異隊ノ兩隊。同日ニ。同シ
狹道ヲ。通行スルヲ。避クヘシ。然レモ。若シ不意
ニ。兩隊同シ道ヲ。通行スルヲ。生スルキハ。大將。其
隊ノ兵士ニ。其道ニ至ルヘキ。時刻ヲ定メ。知ラス

ヘシ。○若シ兩隊。同シ道ヲ。通行スルヲ。務メ為
スヘシト。先見スルキハ。進行ノ常法ヲ以テ。違ヒ
シ時刻ニ。其道ニ至リ。通行スヘキ。軍令ヲ為スヘ
シ。然レモ。若シ此ノ如キ事。不意ニ生スルキハ。分
隊ノ指揮官。其兵士ニ通行ヲ。十分ニ遂クル為ニ。
要務ナル規則ヲ。命令スヘシ。

此ノ配意ヲ以テ。同シ狹道。通行ノ兩分隊。相ヒ遇
ヘ。全ク道ニ。進行シタル一隊。兵士ノ過キリ終ル
ヲ。一隊ノ兵士。待ツヲ避ケ得ル。其待ツニ因テハ。
甚タ兵士ヲ勞ス。殊ニ騎士ニ於テハ。勞罷スル

倭蘭西答屋智經 卷之一 運理堂 莊井

一ヲ。避ケ得ルナリ。

第十四章 進行ノ兵士ヲ小分ニ為ス法

常行軍ニ於テハ。兵士ヲ進行セシメル法ト。頓舎セシメル法ヨリ。他ノ事ヲ。余猶ホ未タ。論説セス。兵士ヲ。小分ニ分ツ法ハ。如何ナスヘキヤ。説キ残セリ。○小分ニ分ツ法ハ。兵士通行ノ國ヲ。多分掠鹵。無カラレムル為ニ。換ムナリ。

第十五章

穀物。猶ホ青クアル時節ニハ。國ヲ掠鹵スル法ト。浸掠セサル法アリ。其穀物ヲ。秣トシテ用ヒ。又タ

苜リタル草ヲ。納ムル倉庫ヲ。造作シテ残シ置ク。殊ニ。騎兵ヲ養フ為ニ。雀麦ヲ納ムル。倉庫ヲ造作シ。残スナリ。

第十六章

進行ノ間。兵士ニ給スル為ニ。近國ヨリ得ル。穀。及ヒ秣ヲ蓄積スル。倉庫造作ハ。兵士再ヒ其地ニ。歸リ至ル時ノ為ニ。其國ノ穀物ヲ。貯ルヲ為サス。其故ハ。他所ニ於テ。兵士ニ給スル為ニ。十分ナル倉庫ヲ。造作シアレハナリ。且ツ積蓄人ニ。託シ殘シ置クカ。或ハ倉庫ヲ。造作ナスニ因テ。穀物ヲ。再

倭蘭西答屋智經 卷之一 運理堂 莊井

ヒ集メ得ルノ策ヲ建レハナリ。
糧食ヲ宰スル軍吏ハ。戰場ニ近クシテ。穀物ヲ蓄積シ置カント欲スル。國ノ穀物ヲ買ヒ取ル。最モ數ナリ。是レ運送ノ費ヲ省クカ故ナリ。
然リト雖モ。軍士戰爭ノ初ニ。常行軍ヲ為スルニハ。人馬共ニ。其國ノ住人ヨリ。食ヲ得ルノ策ヲ為スヘシ。且ツ軍士通行スル國ノ著シキ場所ニ。麥粉及ヒ秣ヲ蓄ル。小庫ヲ建テ。其國ノ食物ヲ貯フヘシ。○此小庫ハ。進行中ノ糧食ヲ給スルニ備フヘシ。然レモ。其小庫ヲ建ルニ。多ク時日ヲ費スル

ハ。戰爭間。兵士ニ給スル為ノ糧食庫ヨリ。其糧食ヲ取ルヘシ。而シテ後ニ。其國ヨリ得ル穀物ヲ以テ。充テ置クヘシ。
戰爭ノ始ニ於テ。進行ヲ為ス間ニ。兵士ニ糧食ヲ給スル法ヲ算スヘシ。○戰爭ニ用ル所ノ諸物ニ於テハ。大倉庫ノ諸物ヲ取り用ル。トナスナリ。其故ハ。戰爭ノ地ニ。近キ國ノ諸物ハ。共ニ益ク。竭ルカ為ナリ。

第十七章

諸産物。未タ益キサル國ニ於テ。軍隊。若シ平原進

伊藤田答風樓 卷之一
行ニ常行軍ヲ為サント欲スルハ。立刻ニ小倉庫ヲ。造建セシムヘシ。若シ之ニ反シテ。軍隊通行スル所ノ國。糧食ノ類。尽キテアルハ。大倉庫ヨリ取テ。糧食トスヘシ。

第十八章

兵士ニ給スル為ノ米粉ヲ。其通行スル市街。又タ村邑ノ製食者ニ。之ヲ製セシムル為ニ。分配スル。時ニ依リテ。之アリ。蒸餅ハ。軍隊ノ製作者ニ。因テ。製スル。最モ常ナリ。

第二綱

第十九章

急行軍ノ常法

急行軍ハ。敵ノ彈丸。至ラサル所ヲ。為スト雖モ。要地ヲ奪フ為。寨ヲ奪フ為。又タ掩撃ノ。救援ノ為。又タ敵ノ侍ツ。無キニ。戰場ヲ移ス為。メノ。筭ヲ為スナリ。○然シテ力所及。急速ニ為スヲ。謀ル。要務ナリ。又タ全軍隊ニ就テ。要務ナルハ。戦ヒニ勢ヲ振ハレムルヲ謀ル。要務ナリ。或ハ又タ。残兵ヲ率ヒテ。一軍隊ノ後援ニ。趣クヲ謀ル。要務ナリ。

第二十章

今マ常ノ急行軍ノ法ヲ。説クヲ以テ始ム。然シテ後ニ。大軍ニ。急行軍ヲ。為サシムル法ニ。及ホスヘシ。

第二十一章

兵士ニ糧食ヲ必ス給スルノ法。敵ノ彈丸。至ラサル所ノ。急行軍ニ於テハ。軍隊必ス。通行スヘキ地ノ。傳舎ニテ。食セシムルニテ。事足レリ。或ハ頓舎所ニ於テ。兵卒ニ食ハシムルニテモ。亦事足レリ。此次法ハ。佛蘭西。獨逸。及ヒ以太利。如キ。豐饒ノ國ニ於テノ。用ヒ得ヘシ。他國

ニ於テハ用ヒ難シ。少ク規則ニ。合ハスド雖モ。兵

卒ノ為ニハ。最モ善トス。○那波拿。兵士ノ糧食乏

キハ。罷弊ノ生スルヲ考ヒ。之ヲ増シ。而シテ。其

大度ヲ。知ラシメンヲ考ヒテ。彼兵士ヲシテ。列

印川ヲ渡リ。烏兒母ニ近キ所ニ。聚會セシメント

欲シ。共和政治十四年十月。第九月二十一日ヨリ

ニ為セシ。急行軍ノ間。大軍隊ニモ。亦之ヲ施セリ。

小軍隊ハ。頓舎所ニ於テ食シ。或ハ急速小庫ノ。食

ニ就クヲ。最モ簡易トス。此急速小庫ノ便ニ因テ。

我諸軍隊。既ニ三十年間ノ戦争ニ。全獨逸國內ヲ。

伊藤田答屋督辨

卷之一

連理堂藏板

横行セリ。

第二十二年

此ノ類ノ。行軍ニ於テ。為スヘキ配慮アリ。假令ヘ
 ハ。兵士分配ノ食ニテ。飽食スルモ。又々住人ヨリ
 食ヲ得テ。飽満スルモ。兵士ニ二日。或ハ四日ノ糧
 食ヲ携ヘシムヘシ。○不意ノ変事ニ備レ。此法ハ。
 古戰場ニ於テ。四日ノ糧食ヲ。士卒ニ携ヘシムル
 一ヲ。令セルヲ。少シモ怠ラサリシ如ク。布列弟列
 幾^キ及ヒ那波拿^ナハ。最モ此事ヲ。至大ナリトシ。之ヲ
 用ヒリ。

第二十三章

騎兵ハ。自カラ雀麦。少量ト。束タル枯草ヲ。馬ニテ
 荷ヒ行キ。秣ノ缺ニ。備フルナリ。○其他ハ。騎兵通
 行スル地ニ。備ヒ為ス。蓄秣所ヨリ。其秣ヲ取ルナ
 リ。之ニ因テ。騎兵其國ノ住人ヨリ。馬ヲ飼ハシム
 ルナリ。此法ヲ。施シ。行ヒ得ルニ於テハ。馬ヲ飼フ
 ノ。良法ナリトス。
 急行軍ニ於テ。小軍隊ニ。兵食ヲ給スル法ハ。大凡
 ソ此ノ如シ。

第二十四章

軍士ヲ分ツキハ。最モ輕便ニ進

佛蘭西答屋督辨

卷之一

連理堂藏板

行ヲ為シ得ル法
余既ニ常行軍ニ於テ。説キタル事ヲ。今マ再ヒ。茲
ニ述フヘシ。兵士運動ニ。彼等為スヘキ。急速ヲ為
サシムル。最モ切實ナル法ハ。多隊ニ分クルナリ。
○衆多ノ小隊ハ。著大ノ軍隊ヨリ。速ニ進行シ。得
ルノミナラス。小隊ノ兵士ハ。大隊ノ兵士ヨリ。罷
勞スルコト少シ。其故ハ。毎日大道ニ。暫時休息シテ。
甚タ簡易ニ。進行レ得レハナリ。此理ニ因テ。兵士
ヲ分ツコトハ。最モ堅固ナル。行軍ヲ為サシムルノ
ミナラス。猶ホ數々。勇壯ナル行軍ヲ。再ヒ為サシ

ムルコトヲモ。亦為セリ。

第二十五章

一隊ノ軍兵。進行ヲ急カシムル。此常法ノ外ニモ。
亦急速ヲ。促ス他法アリ。即チ初ニ道ヲ開カシメ。
或ハ道ヲ作ラシム。又タ車ヲ引ク馬ヲ。強カラシ
メ。其進ムヲ。急カシムル為メニ。其國ノ馬ヲ雇ヒ
用ユ。又若シ渡ルヘキ。川アル所ハ。第一ニ。其至ル
ヘキ地ニ。先ツ到ルヘキ軍隊ヲ。第一ニ舟ニ乗ラ
シムヘシ。而シテ後ニ。此隊ノ輜重。及ヒ大銃類ヲ。
渡スヘシ。

伊藤田答風智勢 卷之一 連理堂

第二十六章

此次ニ述ル。四ツノ理ノ為ニ。大軍ハ分ツヘシ。

第一ニ。此隊ノ各士。共ニ一ツニ成ラント。欲スルキハ。甚タ速ニ進ミ。而ノ後ニ。容易ク分ルヘシ。

第二ニ。銃隊。及ヒ輜重ノ隊ハ。少クシテ。混雜セシメス。

第三ニ。兵士ハ。其國ノ穀ニ因リテ。容易ニ食ヲ得ル。

第四ニ。諸方位ニ就テ。軍隊ハ道ヲ作ル助ケ。及

ヒ車ヲ引ク馬ヲ。強カラシムル助ケテ。其國中ニ於テ。検査シ。而シテ。運送容易ノ法ヲ得ヘシ。此ノ如ク。急行軍ヲ為ス為メニ。分ケタル。諸軍隊ハ。其至ルヘキ地カ。其近キ所ニ。一ツニ集リ會ス。此行軍ハ。敵ノ彈丸。至ラサル所ヲ為ス。要務ナリ。其故ハ。敵ニ近キ所ヲ。為ス運動ハ。是レ動作ノ類ニ。属シ入レレハナリ。

第三綱

第二十七章

迅行軍

伊藤田答風智勢 卷之一 連理堂

伊藤田答屋智幾 卷之一
常行軍ノ行程ヲ越へ進マス。猶ホ休息セスニハ。相ヒ統ク。能ハサル進行ハ。適度ノ早速ヲ為スノミナリ。又タ若シ。常行軍ノ早速ニ。倍セント欲スルキハ。軍兵ヲ次第々ニ。徒歩ニテ。又タ諸物ヲ車ニテ出行セシム。然レモ此法ヲ施行スニ。助ケトナルヘキキニ。生スル妨害ト。此法ヲ遂クヘキ形勢ト。相ヒ反シテ。軍兵ノ期スル所ノ諸事ヲ得ルヲ妨ク。○軍兵ヲ送ル車ト。并ニ車ヲ引カスル馬ハ。農民ヨリ。借り雇フヘシ。而シテ。其價ハ。厚ク報ユヘシ。○車馬ハ。大道ノ定メ。置ケル地

ニ集ム。○農民ニ諭告シテ。役使スル。甚タシカラサル為ニ。其馬ヲ借ルハ。農業ノ妨ケニ。成ラサルヤウニ。四日カ。五日ヨリ。多ク借り。使フヘカラス。○車ノ少キ地ニ於テハ。其車ヲ集ムル地ニ。遠近ヲ測リテ。之ヲ定メ命シ。其進行ノ日數ヲモ。亦定メ。然レモ其車數ハ。二百カ。二百五十ヲ過クス可カラス。

早速ニ進行スル軍隊。衆多ナルキハ。其隊ヲ數隊ニ分ツテ。別道ヲ行キ。然レモ同キ所ニ。集マルヘシ。

第二十八章

各隊若シ。毎日二組ヨリ。進行ヲ為サ、ルキハ。其
一道ニ。備ヘアル新馬。其道ヲ進行スル。兵士ノ半
ヲ。乗セ送ル。○二組ノ兵士ハ。二組ノ傳舎ヲ。設ケ
ヘシ。○二組ノ兵士ハ。毎日一組ハ。徒歩。一組ハ馬
ニテ。進行ス。○各車ハ。其車ノ集リアル地ヨリ。二
日路ヨリ。遠ク行クヲ。為サス。

第二十九章

若シ三組カ。四組ヲ。毎日進行セシメント。欲スル
キハ。軍士全ク。車ニテ。進行セシムヘシ。
引替エヘキ。新馬ハ。軍士ノ頓舎スヘキ。地ノ間ニ

ル。休息所ヲ。備ヘ置クヘシ。○各隊ニ。兩梯ヲ備
ヒ行クヘシ。而シテ。一ハ。前ニ。一ハ。後ヨリ。持チ行
クヘシ。○新馬ハ。二休息所ヲ。過リ行カシムヘシ。
而シテ。相ヒ続テ。兩梯ヲ送り遣ルヘシ。○此法ニ。因
テ。軍士ハ。毎日八里。或ハ十里ヲ走ルヘシ。然レモ。
軍士罷勞スルナシニ。四十八時_{我ニ昼ヨリ。多ク}
走ルヲ。得サルヘシ。○軍士ニ。滯留ヲ許スヘシ。
然レモ。然カスルキハ。此第二法ニ。因テ。第一法ニ
設ケ為ス。利ヲ失フヘシ。○其法如何ナルヲ。為
スト雖モ。千七百九十三年ニ。佛蘭西ニ於テ。イ

一。ンセノ市兵ヲヘンデイヘ送り遣ルキニ。此法ヲ用ヘリ。○獨逸ヨリ。漸ク帰り来リシ。新兵ヲ。巴里斯ヨリ。サクセンニ送り遣リテ。索漏生ト。合戦ヲ始ムル前ニ。我大軍ニ合セシメシキ。即チ千八百六年ニ於テ。此ノ最モ切实ナル。第二法ヲ用ヘタリ。○「マイーンセ」ニ嚮フ。軍隊ヲ分テ。二トナシ。一隊ハ「カロン」及ヒ「メッ」ヲ通り。一隊ハ「ル」セ「ンブルグ」及ヒ「トレヘス」ヲ通り行カシム。○新馬ハ。二列ニ分ツ。一列毎ニ。人負千二百人ナリ。

佛蘭西答屈智幾卷之一

